

磐梯朝日国立公園
(磐梯吾妻・猪苗代地域)

公園計画変更書

[一部変更]

(環境省原案)

令和4年 月 日

環 境 省

目 次

第1 公園計画の変更	1
1 変更理由	1
2 事業計画の変更内容	2
(1) 施設計画	2
ア 利用施設計画	2
(ア) 単独施設	2
(イ) 運輸施設	3

第1 公園計画の変更

1 変更理由

磐梯朝日国立公園は、東北地方中南部に位置し、山形県、福島県及び新潟県の3県に跨り、出羽三山・朝日地域、飯豊地域、磐梯吾妻・猪苗代地域からなり、昭和25年9月5日に指定された。それぞれの地域は、朝日連峰や飯豊連峰に代表される雄大な山岳景観、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群の湖沼景観を有しており、登山や自然探勝をはじめ多様な利用がなされている。

磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域は、山形県、福島県に跨がり、磐梯山とその北側の裏磐梯を有する磐梯地区、西吾妻山を最高峰とする吾妻連峰と安達太良山を包括する吾妻地区、猪苗代湖を包括する猪苗代地区の3地区に分けられる。

磐梯地区のうち、磐梯山は猪苗代湖や吾妻連峰の眺望、高山植物群落の観賞、登山、スキーなどで利用者が多く、特に秋の紅葉シーズンには一部の登山口に利用者が集中し、登山道の渋滞や周辺道路の路上駐車等の課題が生じている。そのため、磐梯山に連なる赤埴山の植生復元を図りつつ、磐梯山の利用分散を進め、適正利用を図るため、赤埴山スキー場施設の整備方針及び索道運送施設の区間及び整備方針を変更する。

今回変更は、「磐梯朝日国立公園満喫プロジェクト磐梯吾妻・猪苗代地域ステップアッププログラム2025」において重点的な取り組み事項として「スキー場のグリーンシーズン利用など、潜在的な自然資源の利活用の方策について検討する」が示され、この取組の一つである前述の赤埴山スキー場施設の整備方針及び索道運送施設の区間及び整備方針の変更は、「国立公園の公園計画等の見直し要領について」（平成25年5月17日付け環自国発第1305174号）の2（3）ウ「（前略）自然的、社会的実情に照らして当該公園の保護又は適正な利用に資すると認められる場合」に該当するものであることから、公園計画の一部変更として行うものである。

2 事業計画の変更内容

(1) 施設計画

ア 利用施設計画

利用施設計画の一部を次のとおり変更する。

(ア) 単独施設

次の単独施設を変更する。

(表1：単独施設変更表)

現行					新規		理由
番号	種類	位置	整備方針	告示年月日	位置	整備方針	
71	スキー場	福島県耶麻郡猪苗代町 (赤埴山)	既設のスキー場を中心とし、 施設の改善と整備を図る。	昭和 53. 12. 8	変更なし	既設のスキー場を中心とし、既存施設の統廃合や ゲレンデの植生復元も含めた施設の改善を図る。	磐梯山地域における 適正な利用を推進す るため。

(イ) 運輸施設

次の運輸施設を次のとおり変更する。

(表2：運輸施設変更表)

現行							新規						理由
番号	路線名	種類	位置又は区間	主 要 経過地	整備方針	告示年月日	番号	路線名	種類	区間	主 要 経過地	整備方針	
3	赤埴山	索道運送 施設	福島県耶麻郡 猪苗代町(赤埴 山スキー場)		夏山探勝用としての既 存施設の現状維持を図 る。	昭和 52. 12. 8	3	赤埴山	索道運送 施設	起点-福島県耶 麻郡猪苗代町 (赤埴山南麓) 終点-福島県 耶麻郡猪苗代 町(赤埴山南 麓)		磐梯山及び赤埴山の探 勝・登山利用のため、既 存の赤埴山スキー場事 業施設を活用又は新た な施設を整備する。施設 の整備に当たっては、周 辺の植生復元を図ると ともに、自然環境への影 響が極力回避されるよ う留意する。	磐梯山地域における 適正な利用を推進す るため。

利用施設計画変更図

